

## 生命倫理専門調査会（第43回～第46回）ヒアリング実績

平成20年1月31日  
生命倫理専門調査会事務局

- ・第43回 平成19年4月19日
  1. ヒトES細胞の医学利用の実現性 克服すべき問題点と研究指針  
理化学研究所発生・再生科学総合研究センター グループディレクター 笹井芳樹
  2. 心筋再生医療の現状  
千葉大学大学院医学研究院循環病態医科学 教授 小室一成
  3. ヒトES細胞の現状と問題点 献血に頼らない輸血を実現  
東京大学医科学研究所ヒト疾患モデル研究センター 教授 中内啓光
  
- ・第44回 平成19年6月12日
  1. 脳科学の現状と倫理  
理化学研究所脳科学総合研究センター センター長 甘利俊一
  2. 脳神経倫理 脳科学と社会の健全な関係をめざして  
東京大学大学院情報学環 教授 佐倉統
  
- ・第45回 平成19年8月21日
  1. 遺伝子診断の脱医療・市場化が来す倫理社会的課題  
北里大学大学院医療系研究科 准教授 高田史男
  2. ナノテクノロジーの生体・環境・社会影響に関する取組み  
物質・材料研究機構 材料ラボ長 原田幸明
  
- ・第46回 平成19年10月31日
  1. 初期のヒト胚の研究利用に関するカトリック《人格主義》生命倫理学  
受精時からの人間の尊厳と基本的人権の保護  
富山大学経済学部 教授 秋葉悦子
  2. 国際機関での生命倫理を巡る動き  
ユネスコ「生命倫理と人権に関する世界宣言」と同意に関する報告  
国立循環器病センター研究所 バイオサイエンス部長 森崎隆幸